

心理的アセスメントに関する理論と実践 I

[講義・演習] 第1学年 前期 必修 2単位

《担当者名》○野田 昌道 今井 常晶 金澤 潤一郎 西郷 達雄 関口 真有 金山 裕望 上河邊 力

【概 要】

公認心理師の実践において必要なアセスメントの理論と方法について学ぶ。公認心理師業務に必要な心理検査の実施からフィードバックまでの一連のアセスメント技術を体験的に学び、習得をめざす。

【学修目標】

- ① 公認心理師の実践における心理的アセスメントの意義を理解する。
- ② 心理的アセスメントに関する理論と方法を理解する。
- ③ 心理に関する相談、助言、指導等へアセスメントを活用できるようにするために、心理状態の観察および結果の分析方法を習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	心理的アセスメント総論 (アセスメントの理論、基本的な態度)	心理的アセスメントの理論について概観する。心理アセスメントを実施する上での必要な理論、基本的な態度について学ぶ。心理的アセスメントに必要な情報収集の仕方について学ぶ。	野田 昌道
2	心理的アセスメント総論 (アセスメントの理論、基本的な態度)	模擬事例をもとに、アセスメントに関連する問題についてディスカッションを通して学ぶ。	野田 昌道
3	個人における心理査定とその実施	個人に対する各種心理査定の実施、解釈、フィードバック、および支援計画の立案について学ぶ。	西郷 達雄
4	心身両面からの多角的アセスメントとその実施	心身両面からの多角的アセスメントを学び、実施、解釈、フィードバック、および支援計画の立案について学ぶ。	西郷 達雄
5	アセスメント結果の記録方法	アセスメント結果を記載する方法を学ぶ。	西郷 達雄
6	知能のアセスメント①	WAIS-III、WISC-IV、WISC-Vなどの知能検査の成り立ち、特徴、意義及び限界について学ぶ。	金澤 潤一郎
7	知能のアセスメント②	知能検査の実施に有用な情報及びその活用法について学ぶ。	金澤 潤一郎
8	知能のアセスメント③	知能検査を正しく実施し検査結果の解釈を実践する。	金澤 潤一郎
9	知能のアセスメント④	知能検査の結果と様々な情報から、適切に報告書を作成する方法を学び、実践する。	金澤 潤一郎
10	知能のアセスメント⑤	模擬患者を活用したWISC-IV、WISC-Vの実技試験を実施する。実践場面における検査への導入や実施方法、被検査者への対応について実践する。	金澤 潤一郎
11	子どものアセスメント①	子どもの心理的アセスメントで用いられる検査の種類や成り立ち、意義、限界点について学ぶ。	今井 常晶
12	子どものアセスメント②	新版K式発達検査の概要を理解し、実施方法を学ぶ。	今井 常晶
13	子どものアセスメント③	新版K式発達検査の結果の解釈、報告書の作成方法について学ぶ。	今井 常晶
14	質問紙検査①	MMPIを実際に体験しその施行法、解釈について学ぶ。	野田 昌道
15	質問紙検査②	教材事例を用い、MMPIの解釈、ケース理解、フィードバックについて学ぶ。	野田 昌道

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

単元ごとのレポート課題、演習の実施状況（70%）、一部の検査の実技試験（30%）によって評価する。

【教科書】

適宜各講義で指示する。

【参考書】

適宜各講義で指示する。

【学修の準備】

- ① 毎回講義で扱う心理検査に関しては、事前に概要について予習しておく。
- ② 講義で扱う心理検査に関しては、臨床現場で実施できるように、実技練習をしておく。
- ③ 各単元で提示した課題についてレポートを作成すること。
- ④ ウェクスラー式知能検査、投影法に関しては実技試験を実施するため、実技練習をしておく。
- ⑤ 行動観察ではデータ分析を行うためSPSS、R、エクセル統計ソフトなど各自が慣れている統計ソフトを準備しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として社会に貢献することが期待できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。